当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	2021年10月26日まで(2011年6月30日設定)
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財 産の成長を目指して運用を行います。
	US成長株 US・グロース・ストック・ファオー プン ンド(JPYクラス) 受益証券お(円へッジ よびマネー・ポートフォリオ マありコース) ザーファンド受益証券
主要運用対象	US·グロース・ ストック・ 米国の金融商品取引所上場 (これファンド に準ずるものを含みます。) 株式 (JPYクラス)
	マネー・ポート フ ォ リ オ わが国の公社債 マザーファンド
運用方法	・米国の金融商品取引所上場(これに準ずるものを含みます。)株式を実質的な主要投資対象とします。 ・原則として、米ドル建資産に対して、円で為替へッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。
主な組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・公社債に係る運用の指図は、債券買い現先取引(売戻条件付の買入れ)および債券貸借取引(現金担保付き債券借入れ)以外は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎年4月26日および10月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。(ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。)

- ※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
- ※公募株式投資信託は税法上、「NISA (少額投資非課税制度) およびジュニアNISA (未成年者少額投資非課税制度)」の適用対象です。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書(全体版)

US成長株オープン (円ヘッジありコース)



第17期(決算日:2019年10月28日)



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。 さて、お手持ちの「US成長株オープン(円へッジ ありコース)」は、去る10月28日に第17期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げ ます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い 申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号 ホームページ https://www.am.mufg.jp/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用 フリーダイヤル 0 1 2 0 - 1 5 1 0 3 4

(受付時間:営業日の9:00~17:00、 土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- 一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

〇最近5期の運用実績

	fata		基	準		価			額	債			券	傏			卷	投	資	信	託	純	資	産
決	算	期	(分配落)	税分	込 配	み 金	期騰	落	中率		入.	比	率	債先	物	比	券 率	証組	入	比	託券率	総	,,	額
			円			円			%				%				%				%		百	万円
13期(2	2017年10	月26日)	16, 479			0			4.2				_				_			99	9.0			155
14期(2	2018年4	月26日)	17, 189			0			4.3				-				_			98	8. 2			146
15期(2	2018年10	月26日)	18, 234			0			6.1				-				_			98	8. 5			610
16期(2	2019年4	月26日)	19, 736			0			8.2				-				_			9'	7.8			698
17期(2	2019年10	月28日)	19, 217			0		Δ	2.6				-				_			98	8. 1			608

- (注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。
- (注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「債券先物比率」は買建比率 売建比率。

〇当期中の基準価額と市況等の推移

<i>b</i>	п	-	基	準	佃	í	額	債			券	倩			券	投証	資	信	託
年	月	日			騰	落	率	組	入	比	券 率	債先	物	比	券 率	組組	入	比	託券率
	(期 首)			円			%				%				%				%
	2019年4月26日			19, 736			_				_				_			Ç	97.8
	5月末			18, 809			△4.7				_				_			Ć	98. 4
	6月末			19, 471			$\triangle 1.3$				_				_			Ç	98.0
	7月末			19, 866			0.7				_				_			Ç	98. 2
	8月末			19, 137			$\triangle 3.0$				_				_			ć	98. 1
	9月末			18, 912			△4. 2				_				_			Ç	98. 2
	(期 末)												<u> </u>					<u> </u>	•
	2019年10月28日			19, 217			$\triangle 2.6$				_				_			ç	98. 1

- (注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。
- (注)騰落率は期首比。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「債券先物比率」は買建比率 売建比率。

運用経過

第17期:2019年4月27日~2019年10月28日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第 17 期 首	19,736円
第 17 期 末	19,217円
既払分配金	0円
騰落率	-2.6%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金 (税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、 ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.6%の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

下落要因

コミュニケーション・サービス関連銘柄(NETFLIX INC、TWITTER INC)や一般消費財・サービス関連銘柄(AMAZON. COM INC)などの株価下落が、基準価額の下落要因となりました。

第17期:2019年4月27日~2019年10月28日

投資環境について

▶株式市況

期を通してみると、米国株式市況は上昇 しました。

期首から2019年5月末にかけては、米中貿易摩擦への懸念が高まったことなどから下落したものの、7月下旬にかけては米連邦準備制度理事会(FRB)による利下げ観測の高まりなどを背景に上昇しました。その後、米中貿易協議の進展に対する期待や懸念が交錯する中で上値の重い展開となりました。

▶ 国内短期金融市場 無担保コール翌日物金利は0%を下回る 水準で推移、国庫短期証券(3ヵ月物)

の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で 推移しました。

日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移し、足下ではマイナス0.02%程度で推移しました。

日銀による短期国債の買入れなどから、 国庫短期証券(3ヵ月物)の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。 期首からマイナス0.15%前後で推移していましたが、2019年9月末に需給の引き締まりによりマイナス0.4%まで低下しました。その後上昇し、足下はマイナス0.2%程度で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ US成長株オープン(円ヘッジあり コース)

期を通じて、円建の外国投資信託である US・グロース・ストック・ファンド (JPYクラス) 受益証券を高位に組み 入れ、マネー・ポートフォリオ マザー ファンド受益証券への投資も行いました。

■ US・グロース・ストック・ファンド (JPYクラス)

主として米国の金融商品取引所上場(これに準ずるものを含みます。)株式への

投資を行いました。

時価総額が大きく流動性に優れた大型株を中心に投資を行うとともに、米ドル建 資産に対して、米ドル売り、円買いの為 替ヘッジを行いました。

ポートフォリオの構築にあたっては、ボトムアップ・アプローチを活用しアナリストによる徹底的な銘柄分析を行い、競争環境や業種などを考慮した独自の成長基準に合致し、利益成長性が高いと判断される銘柄に投資を行いました。

クラウドコンピューティングなどの収益

成長が期待されるMICROSOFT CORPや、 検索サービスやYouTubeでの広告収入の 伸びなどが期待されるALPHABET INC-CL C、オンライン通販やクラウドコン ピューティングなどの収益成長が期待さ れるAMAZON.COM INCなどを引き続 き組み入れました。 ▼ネー・ポートフォリオ マザーファンド わが国のコール・ローンへの投資を通じ て、安定した収益の確保や常時適正な流 動性の保持をめざした運用を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。 従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益(留保益)につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第17期 2019年4月27日~2019年10月28日
当期分配金 (対基準価額比率)	- (-%)
当期の収益	_
当期の収益以外	_
翌期繰越分配対象額	9,217

- (注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針(作成対象期間末での見解です。)

▶ US成長株オープン(円ヘッジあり コース)

引き続き、円建の外国投資信託であるUS・グロース・ストック・ファンド(JPYクラス)受益証券を主要投資対象とし、マネー・ポートフォリオ マザーファンド受益証券への投資も行います。

▶ US・グロース・ストック・ファンド (JPYクラス)

引き続き、主として米国の金融商品取引 所上場(これに準ずるものを含みま す。)株式への投資を行うとともに、原 則として、米ドル建資産に対して、米ド ル売り、円買いの為替ヘッジを行います。 時価総額が大きく流動性に優れた大型株 を中心に投資を行います。

ポートフォリオの構築にあたっては、ボトムアップ・アプローチを活用しアナリストによる徹底的な銘柄分析を行い、競争環境や業種などを考慮した独自の成長基準に合致し、利益成長性が高いと判断される銘柄に投資を行います。

世界経済の成長は減速を続ける可能性がある一方、米国については、やや減速しながらも堅調なペースで成長する兆候を示しています。なお、中国や欧州の景気は引き続き悪化していることから、同地域に事業を展開している企業には一層の

警戒が必要だと考えています。足下、米中貿易摩擦や米国のトランプ大統領を巡る弾劾の動向、香港での民主化を求める動き、英国の欧州連合(EU)からの離脱など、地政学的なリスクがあるものの、各国・地域の中央銀行が追加金融緩和に積極的な姿勢を示していることや底堅い米国経済などから、株式市場にとって支援材料になると考えています。

今後、米国およびグローバルな経済動向を注視しつつ、魅力的な成長見通しを有していると思われる企業を引き続き選好し、規律あるリサーチを重視した投資スタンスを継続していく方針です。

▶ マネー・ポートフォリオ マザーファンド

物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。以上の見通しに指り、わが国の国債や短期国債(国庫短期証券)現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行う方針です。

2019年4月27日~2019年10月28日

🍑 1 万口当たりの費用明細

項目	当	期	項目の概要
	金額(円)	比率 (%)	央ロ の 概女
(a)信 託 報 酬	114	0.594	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	(37)	(0.192)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(74)	(0.385)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.017)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)その他費用	1	0.005	(b)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.005)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	115	0.599	

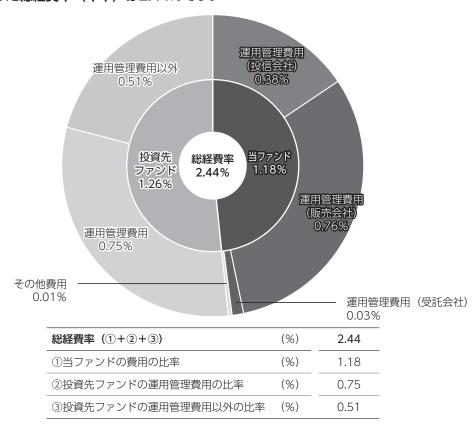
期中の平均基準価額は、19.269円です。

- (注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を 含む) は、追加・解約により受益権口数に変動が あるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親 投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対 応するものを含みます。
- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている 投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支 払った費用を含みません。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における 「1万口当たりの費用明細」が取得できるものに ついては「組入れ上位ファンドの概要」に表示す ることとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円 未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除し て100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未 満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した**総経費率(年率)は2.44%**です。



- (注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注) 各比率は、年率換算した値です。
- (注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。
- (注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

〇売買及び取引の状況

(2019年4月27日~2019年10月28日)

投資信託証券

	銘	柄		買	付			売	付	
	亚 白	1173	П	数	金	額	П	数	金	額
玉				千口		千円		千口		千円
内	US・グロース・ストッ	›ク・ファンド (J P Y クラス)		10, 123		18,064		41,917		74,900

(注) 金額は受渡代金。

〇利害関係人との取引状況等

(2019年4月27日~2019年10月28日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年10月28日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	杻	期首(前期末)		示	i	期	末	
型白	173	П	数	П	数	評	価 額	比	率
			千口		千口		千円		%
US・グロース・ストック・	ファンド (JPYクラス)		373, 126		341, 332		597, 468		98. 1
合	計		373, 126		341, 332		597, 468		98. 1

(注) 比率はUS成長株オープン (円ヘッジありコース) の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

Ī	A/Z	扭	期首(前	前期末)		当 其	期 末	
	銘	柄	П	数	П	数	評 価	額
Ī				千口		千口		千円
	マネー・ポートフォリオ	マザーファンド		3, 186		3, 186		3, 192

○投資信託財産の構成

(2019年10月28日現在)

16	П		当	其	Я	末
項	目	評	価	額	比	率
				千円		%
投資信託受益証券				597, 468		97. 5
マネー・ポートフォリオ マ	ザーファンド			3, 192		0. 5
コール・ローン等、その他				12, 358		2. 0
投資信託財産総額				613, 018		100. 0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年10月28日現在)

〇損益の状況

(2019年4月27日~2019年10月28日)

	項 目	当 期 末
	75 1	円
(A)	資産	613, 018, 289
	コール・ローン等	12, 356, 630
	投資信託受益証券(評価額)	597, 468, 936
	マネー・ポートフォリオ マザーファンド(評価額)	3, 192, 723
(B)	負債	4, 055, 152
	未払解約金	199, 999
	未払信託報酬	3, 819, 822
	未払利息	22
	その他未払費用	35, 309
(C)	純資産総額(A-B)	608, 963, 137
	元本	316, 886, 194
	次期繰越損益金	292, 076, 943
(D)	受益権総口数	316, 886, 194□
	1万口当たり基準価額(C/D)	19, 217円

	項 目	当 期
		円
(A)	配当等収益	15, 070, 572
	受取配当金	15, 074, 320
	支払利息	△ 3,748
(B)	有価証券売買損益	△ 27, 613, 125
	売買益	1, 345, 141
	売買損	△ 28, 958, 266
(C)	信託報酬等	△ 3, 855, 131
(D)	当期損益金(A+B+C)	△ 16, 397, 684
(E)	前期繰越損益金	49, 823, 277
(F)	追加信託差損益金	258, 651, 350
	(配当等相当額)	(213, 385, 403)
	(売買損益相当額)	(45, 265, 947)
(G)	計(D+E+F)	292, 076, 943
(H)	収益分配金	0
	次期繰越損益金(G+H)	292, 076, 943
	追加信託差損益金	258, 651, 350
	(配当等相当額)	(213, 385, 403)
	(売買損益相当額)	(45, 265, 947)
	分配準備積立金	61, 041, 484
	繰越損益金	△ 27, 615, 891

<注記事項>

①期首元本額 354,165,885円 期中追加設定元本額 1,879,664円 期中一部解約元本額 39,159,355円 また、1口当たり純資産額は、期末1.9217円です。

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

②刀癿立り口 昇地性		
項	目	2019年4月27日~ 2019年10月28日
費用控除後の配当等収益額		11, 214, 354円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価	証券売買等損益額	-円
収益調整金額		231, 035, 459円
分配準備積立金額		49,827,130円
当ファンドの分配対象収益額		292, 076, 943円
1万口当たり収益分配対象額		9,217円
1万口当たり分配金額		-円
収益分配金金額		-円

^{*}三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (https://www.am.mufg.jp/) をご覧ください。

[お知らせ]

信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める(分散型に分類)とともに、約款記載の整備を行うため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載変更ならびに約款記載の整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。 (2019年7月26日)

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、US成長株オープン(円ヘッジありコース)が投資対象とする円建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名			称	U S・グロース・ストック・ファンド(JPYクラス)
運	用	方	針	1. 時価総額が大きく流動性に優れた大型株を中心に投資を行います。ポートフォリオの構築に際しては、ボトムアップ・アプローチを活用しアナリストによる徹底的な銘柄分析を行い、競争環境や業種などを考慮した独自の成長基準に合致し、利益成長性が高いと判断される銘柄に投資を行います。 ・株式等の組入比率は原則として高位を維持します。 ・個別銘柄への投資割合は、取得時において当ファンドの純資産総額の5%または参考指数(ラッセル1000グロースインデックス)における構成比+3%の大きい方の範囲内とします。・業種別の投資割合は、原則として参考指数の業種構成比から±3%の範囲内とします。・米国預託証券および上場投資信託証券への投資割合は、取得時において当ファンドの純資産総額の各10%以内とします。 2. 原則として、米ドル建資産に対して、円で為替へッジを行います。 3. 市況動向や資金動向、残存信託期間等の事情によっては、前記のような運用ができない場合があります。
投	資 顧	問会	社	メロン・インベストメンツ・コーポレーション (Mellon Investments Corporation)
信	託	期	限	無期限
設	5	Ė	日	2011年6月30日
会	計	年	度	毎年3月末
収	益	分	配	原則として、毎月分配を行います。

US・グロース・ストック・ファンド

損益計算書、純資産変動計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、 編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

(2019年3月29日に終了する期間)

(2010+07)2011-1(17)	
(米ドルで表示)	
投資収益	
受取配当金(外国税額控除後)	\$ 203,036
受取利息	10,119
投資収益合計	213,155
費用	
運用受託報酬	139,916
専門家報酬	51,251
会計処理および管理手数料	44,999
保管報酬	32,514
受託者報酬	22,293
名義書換事務代行手数料	9,745
登録手数料	3,729
その他費用	15
費用合計	304,462
投資純損失	(91,307)
実現および未実現損益: 実現損益:	
火坑快車 : 投資有価証券	2,293,190
外国通貨取引および為替予約取引	(138,028)
実現純福益	2,155,162
	2,100,102
投資有価証券	958,304
外国通貨取引および為替予約取引	286
未実現評価損益の純変動	958,590
実現および未実現損益(純額)	3,113,752
運用による純資産の増減(純額)	\$ 3,022,445

⁽注)()内の金額は、マイナスの金額です。

2. 純資産変動計算書

(2019年3月29日に終了する期間)

(米ドルで表示)		
運用による純資産の増減額		
投資純損益	\$	(91,307)
実現損益	Ψ	2,155,162
未実現評価損益の純変動		958,590
運用による純資産の増減額		3,022,445
分配		(2,307,859)
ファンドユニット取引による純資産の増減額		8,695,342
純資産の増減		9,409,928
·····································		
純資産		
期首の純資産		19,704,422
期末の純資産	\$	29,114,350

	USGSF JPY - JPY Class	USGSI	F JPY - USD Class
ファンドユニット取引			
ユニット数			
発行	331,379,254		732,171,093
再投資	5,181,446		170,084,599
償還	(49,860,101)		(577,487,220)
ユニット数の増減	286,700,599		324,768,472
金額			
発行	\$ 5,312,373	\$	9,138,744
再投資	85,384		2,222,475
償還	(805,282)		(7,258,352)
ファンドユニット取引による増減額	\$ 4,592,475	\$	4,102,867

(注)()内の金額は、マイナスの金額です。

3. 投資明細表

(2019年3月29日現在)

株式	<u>銘柄名</u>		公正価値
	COMMON STOCKS (99.9%)		
	UNITED KINGDOM (1.8%)		
	CHEMICALS (1.8%)		
2,929	Linde PLC	\$	515,299
	TOTAL UNITED KINGDOM (Cost \$478,623)	-	515,299
	UNITED STATES (98.1%)		
	AEROSPACE/DEFENSE (3.0%)		
2,392	Raytheon Co.		435,535
3,315	United Technologies Corp.		427,270 862,805
	APPAREL (0.6%)		002,000
1,401	PVH Corp.		170,852
	BEVERAGES (1.9%)		
4,511	PepsiCo, Inc.		552,823
	BIOTECHNOLOGY (2.9%)		
2,347	BioMarin Pharmaceutical, Inc.		208,484
752 1,156	Illumina, Inc. Sage Therapeutics, Inc.		233,639 183,862
1,280	Vertex Pharmaceuticals, Inc.		235,456
	COLUMN CLU CONTROL COLUMN		861,441
1.565	COMMERCIAL SERVICES (5.4%)		216 202
1,565 722	Cintas Corp. CoStar Group, Inc.		316,302 336,755
1,301	FleetCor Technologies, Inc.		320,814
5,642	PayPal Holdings, Inc.		585,865 1,559,736
	COMPUTERS (6.5%)		1,555,750
6,794	Apple, Inc.		1,290,520
4,214	International Business Machines Corp.		594,595 1,885,115
	COSMETICS/PERSONAL CARE (1.6%)		1,005,115
3,302	Colgate-Palmolive Co.		226,319
2,341	Procter & Gamble Co.		243,581 469,900
	DIVERSIFIED FINANCIAL SERVICES (4.4%)		,
2,315	Ameriprise Financial, Inc.		296,552
6,290	Visa, Inc. Class A	_	982,435 1,278,987
	ELECTRIC (1.0%)		1,2/8,98/
1,506	NextEra Energy, Inc.		291,140
-	ELECTRONICS (3.9%)		
6,366	Fortive Corp.		534,044
3,881	Honeywell International, Inc.		616,769
	HEALTHCARE-PRODUCTS (6.3%)	-	1,150,813
839	Align Technology, Inc.		238,553
837	Becton Dickinson & Co.		209,024
12,922 2,658	Boston Scientific Corp. Danaher Corp.		495,946 350,909
1,420	Edwards Lifesciences Corp.		271,689
1,840	Varian Medical Systems, Inc.	<u> </u>	260,765
	HEALTHCARE-SERVICES (3.1%)		1,826,886
1,045	Anthem, Inc.		299,894
2,417	UnitedHealth Group, Inc.		597,627
	INSURANCE (1.9%)		897,521
7,660	Progressive Corp.		552,209
8	INTERNET (18.7%)		
470	Alphabet, Inc. Class A		553,138
1,390	Alphabet, Inc. Class C		1,630,901
1,087	Amazon.com, Inc.		1,935,675

(2019年3月29日現在)

株式	銘柄名 COMMON STOCKS (99.9%) (continued)		公正価値
	UNITED STATES (98.1%) (continued)		
	INTERNET (18.7%) (continued)		
1,739	GrubHub, Inc.	\$	120,808
1,615	Netflix, Inc.		575,844
1,533 1,643	Palo Alto Networks, Inc. Wayfair, Inc. Class A		372,335 243,903
1,045	rajun, no. Cuss r		5,432,604
	OIL & GAS (0.7%)		5,152,001
3,581	Marathon Petroleum Corp.		214,323
	PHARMACEUTICALS (3.8%)		
3,586	Eli Lilly & Co.		465,319
3,613	Merck & Co., Inc.		300,493
1,721	Neurocrine Biosciences, Inc.		151,620
1,472	Sarepta Therapeutics, Inc.		175,448
			1,092,880
	RETAIL (7.6%)		
699	Chipotle Mexican Grill, Inc. Class A		496,507
1,447 2,609	Costco Wholesale Corp. McDonald's Corp.		350,377 495,449
1,479	O'Reilly Automotive, Inc.		574,297
3,021	Walmart, Inc.		294,638
-,	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-	2,211,268
	SEMICONDUCTORS (5.6%)		
1,677	Broadcom, Inc.		504,291
2,412	Microchip Technology, Inc.		200,100
6,189	Qualcomm, Inc.		352,959
4,624	Xilinx, Inc.		586,277 1,643,627
	SOFTWARE (14.4%)	-	1,043,027
5,665	Activision Blizzard, Inc.		257,928
1,439	HubSpot, Inc.		239,176
13,309	Microsoft Corp.		1,569,664
3,512	Salesforce.com, Inc.		556,195
1,722	ServiceNow, Inc.		424,456
2,065 5,309	Splunk, Inc. SS&C Technologies Holdings, Inc.		257,299 338,130
5,232	Teradata Corp.		228,377
2,592	Twilio, Inc. Class A		334,835
			4,206,060
	TELECOMMUNICATIONS (2.7%)		
6,833	T-Mobile US, Inc.		472,160
5,255	Verizon Communications, Inc.		310,728
			782,888
	TRANSPORTATION (2.1%)		
3,726	Union Pacific Corp.		622,987
	TOTAL UNITED STATES (Cost \$23,959,551)		28,566,865
	TOTAL COMMON STOCKS (Cost \$24,438,174)	\$	29,082,164

(2019年3月29日現在)

	元本金額	銘柄名	純資産比率		公正価値
		SHORT-TERM INVESTMENTS (1.1%)			
		GRAND CAYMAN (0.0%)			
JPY	1	TIME DEPOSIT (0.0%) Brown Brothers Harriman & Co. (0.27)% due 04/01/19 ^(a)			±0 0
		TOTAL GRAND CAYMAN (Cost \$0) SWEDEN (1.1%)			0
		TIME DEPOSIT (1.1%)			
USD	322,613	Skandinaviska Enskilda Banken AB 1.68% due 04/01/19		\$	322,613 322,613
		TOTAL SWEDEN (Cost \$322,613)			322,613
		TOTAL SHORT-TERM INVESTMENTS (Cost \$322,613)		-	322,613
		TOTAL INVESTMENTS (Cost \$24,760,787)	101.0%	\$	29,404,777
		LIABILITIES IN EXCESS OF CASH AND OTHER ASSETS	(1.0)		(290,427)
		NET ASSETS	100.0%	\$	29,114,350

⁽a) Due to deposit rate cuts by European and Japanese central banks, interest rates for Japanese Yen-denominated short term investments may be less than zero percent.

JPYクラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実	現評価益	未実現評価損	未実現評価損益 (純額)
JPY	Brown Brothers Harriman & Co.	670,475,528	05/03/2019	USD	6,085,992	\$	\$	(17,877)	\$ (17,877)

デリバティブ商品の額

	取引相手	デリバテ 資産の		リバティフ 負債の額		7担保金	差入	.担保金	純額*
店頭デリバティブ	Brown Brothers								
為替予約	Harriman & Co.	\$	-	\$ (17,877)	\$	=	\$	-	\$ (17,877)
マスターネッティング契約の 対象となるデリバティブ合計		\$		\$ (17,877)	<u>\$</u>	-	\$		\$ (17,877)

*Net represents the receivable/(payable) that would be due from/(to) the counterparty in an event of default. Netting is allowed across transactions traded under the same legal agreement with the same legal entity.

通貨略称

JPY - Japanese Yen USD - United States Dollar

 $[\]pm$ A zero balance may reflect amounts rounding to less than one.

マネー・ポートフォリオ マザーファンド

《第19期》決算日2019年5月22日

[計算期間:2018年11月23日~2019年5月22日]

「マネー・ポートフォリオ マザーファンド」は、5月22日に第19期の決算を行いました。 以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第19期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針 わが国の公社債を主要投資対象として、安定した収益の確保を目指して運用を行います。 主 要 運 用 対 象 わが国の公社債 主 な 組 入 制 限 外貨建資産への投資は行いません。

〇最近5期の運用実績

決	算	期	基	準	価 期		額中	債組	入	比	券率	債先	物	比	券率	純総	資	産額
					騰	落	率	小江	/\		7	76	199		+	/IVEN		职
				円			%				%				%			百万円
15期	(2017年5月2	22日)		10, 035			$\triangle 0.0$				_				_			12
16期	(2017年11月2	22日)		10, 031			△0.0				_				_			12
17期	(2018年5月2	22日)		10, 028			△0.0				_				_			12
18期	(2018年11月2	22日)		10, 025			△0.0				_				_			12
19期	(2019年5月2	22日)		10, 022			△0.0				_				_			12

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率 - 売建比率。

〇当期中の基準価額と市況等の推移

年		п	基	準	価		額	債			券率	債先			券率
1 +	Л	日			騰	落	率	組	入	比	率	先	物	比	率
	(期 首)			円			%				%				%
	2018年11月22日			10, 025			_				_				_
	11月末			10, 025			0.0				_				_
	12月末			10, 024			$\triangle 0.0$				_				_
	2019年1月末			10, 024			△0.0				_				_
	2月末			10, 023			△0.0				_				_
	3月末			10, 023			$\triangle 0.0$				_				_
	4月末			10, 023			△0.0				_				_
	(期 末)						•								
	2019年5月22日			10,022			$\triangle 0.0$				_				_

(注)騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率 - 売建比率。

〇運用経過

- ●当期中の基準価額等の推移について
- ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.03%の下落となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

- 〇国内短期金融市場
- <無担保コール翌日物金利の推移>
- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移し、足下ではマイナス0.06%程度で推移しました。

<国庫短期証券(3ヵ月物)の利回りの推移>

・日銀による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券(3ヵ月物)の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。期首は、短期国債の需給の引き締まりからマイナス0.30%台で推移していましたが、その後は需給の緩和により徐々に上昇していき、足下はマイナス0.15%程度で推移しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

・コール・ローンへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした 運用を行いましたが、運用資金に対するマイナス金利適用などから、基準価額は期首と比べて下落しました。

〇今後の運用方針

- ◎運用環境の見诵し
- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

・わが国の国債や短期国債(国庫短期証券)現先 取引、コール・ローンおよびCP現先取引など への投資を通じて、安定した収益の確保や常時 適正な流動性の保持をめざした運用を行う方針 です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年11月23日~2019年5月22日)

該当事項はございません。

〇売買及び取引の状況

(2018年11月23日~2019年5月22日)

該当事項はございません。

〇利害関係人との取引状況等

(2018年11月23日~2019年5月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年5月22日現在)

2019年5月22日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2019年5月22日現在)

項	В		当	其	姐 ==	卡
世 	Ħ	評	価	額	比	率
				千円		%
コール・ローン等、その他				12,001		100.0
投資信託財産総額				12, 001		100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年5月22日現在)

目 当 期 末 円 12, 001, 007 コール・ローン等 12,001,007 21 21 (C) 純資産総額(A-B) 12,000,986 11, 974, 456

26,530

11,974,456口 10,022円

<注記事項>

(A) 資産

(B) 負債

項

未払利息

次期繰越損益金

元本

(D) 受益権総口数

①期首元本額 12,211,800円 期中追加設定元本額 11,986,816円 期中一部解約元本額 12,224,160円 また、1口当たり純資産額は、期末1.0022円です。

1万口当たり基準価額(C/D)

○損益の状況

(2018年11月23日~2019年5月22日)

	項目	当 期
		円
(A)	配当等収益	△ 4,548
	支払利息	△ 4,548
(B)	当期損益金(A)	△ 4, 548
(C)	前期繰越損益金	30, 596
(D)	追加信託差損益金	27, 555
(E)	解約差損益金	△27, 073
(F)	計(B+C+D+E)	26, 530
	次期繰越損益金(F)	26, 530

- (注) (D) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設 定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) (E) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額 を差し引いた差額分をいいます。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

US成長株オープン (円ヘッジありコース) 3, 186, 669円 US成長株オープン (円ヘッジなしコース) 8,787,787円 合計 11,974,456円